

農業生産学部 農業総合学科 作物専攻



乗用移植機による田植え作業



コンバインでの麦収穫作業

作物専攻では、水田を利用した水稲、麦、大豆、そばについて、栽培管理技術や経営管理手法等を学んでいます。また、本県の特徴を活かした経営規模の拡大や野菜などの作物と組合せて収益性の高い経営を目指すための基礎的知識、技術を修得します。

水稲については、「とちぎの星」など良食味品種を用いて、苗箱全量施肥や高密度播種栽培など低コスト・省力化技術に取り組むほか、ICT技術として水田センサーを活用した水田管理も行っています。

麦については、健康食材で注目されるもち性大麦「もち絹香」など本県オリジナル品種の栽培、もち麦については加工にも取り組んでいます。

学生はそれぞれ10a程度の田畑を担当し、農業機械の操作を含め田畑や作物の管理を主体的に行います。

農業生産学部 農業総合学科 露地野菜専攻



乗用管理機でのねぎの土寄せ作業



玉ねぎの収穫作業

露地野菜専攻では、土地利用型露地野菜を中心とした農業経営を目的とし、栽培管理技術や経営管理手法等を学んでいます。

とくに、機械化一貫体系がほぼ確立され、水田を有効に活用できるねぎ・玉ねぎについて、最新の機械を活用した播種、育苗、定植、栽培管理、収穫などの作業を体験し、より省力的で安定した経営実践に向けて日々努力しています。

また、学生たちは、「ねぎの周年出荷へ向けた検討」や「玉ねぎのべと病防除方法の検討」など、それぞれが課題を設定して、意欲的に試験に取り組んでいます。

その他、露地野菜を栽培している水田ほ場には、地下水位制御システムも設置されており、ほ場からの排水のみならず、干ばつ時の灌水も行うことができるので、ねぎや玉ねぎに対する灌水効果なども検討しています。